



arts in hearts
TOYOTA

第1887回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

指揮
小林 研一郎
Ken-ichiro Kobayashi

創立55周年記念演奏会

第1887回トヨタコミュニティコンサート in 宮城
仙台市民交響楽団

ピアノ独奏
牛田 智大
Tomoharu Ushida

ゲストコンサートマスター
永峰 高志
Takashi Nagamine

司会
岩間 瞳
Hitomi Iwama

プレイガイド

藤崎・カワイ仙台・サンリツ仙台北店・東京エレクトロンホール宮城
オンラインチケット/
チケットぴあ [Pコード: 280-878] <https://t.pia.jp/>
ローソンチケット [Lコード: 21734] <https://l-tike.com>
e+(イープラス) [PC/携帯] <https://eplus.jp>
[直接購入] ファミリーマート

お問い合わせ

TEL.070-5475-5982(仙響専用) E-mail sendaishiminkyo@gmail.com

Webサイト・SNS等

仙台市民交響楽団WEBサイト <https://shiminkyo.jimdo.com/>
Facebook <https://m.facebook.com/shiminkyou/>
X(旧Twitter) @sendaishiminkyo



主催

仙台市民交響楽団、公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟
宮城県オールトヨタ販売店グループ
(宮城トヨタ自動車株式会社、仙台トヨペット株式会社、ネットトヨタ仙台株式会社)
トヨタ自動車東日本株式会社、トヨタ自動車株式会社

共催

公益財団法人 宮城県文化振興財団

後援

宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、東北放送、仙台放送、
ミヤギテレビ、東日本放送、Date fm

曲目

ヴェルディ
歌劇『運命の力』序曲

グリーグ
ピアノ協奏曲 イ短調
作品16

ベルリオーズ
幻想交響曲 作品14

日時
2024.11.24(日)

開場 13:00 / 開演 14:00

会場

東京エレクトロンホール宮城 大ホール
(宮城県民会館)
仙台市青葉区国分町3-3-7

入場料

指定席 一般 ¥1,500

自由席 一般 ¥1,000 高校生以下 ¥500

※料金は前売・当日とも一律です。当日券は12時30分より販売いたします。
※無くなり次第、販売終了となります。当日券のご予約・お取り置きは出来ません。
※本公演は未就学児のご入場をお断りします。

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、
アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。

WEBサイト



Instagram





©山本倫子

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万来の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チエチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アッシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。

社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」では活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生等 障がい者を含む演奏家たちと全国でチャリティ公演も行っている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(騎虎書房/日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、東京都豊島区音楽監督、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com/>

ピアノ独奏 牛田 智大

Tomoharu Ushida

2012年(12歳)、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。同年3月、ユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。これまでに、ベスト盤を含む計9枚のCDをリリース。2015年「愛の喜び」以降、続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。これまでに国内外の著名指揮者やオーケストラと共

演を重ね、全国各地の演奏会で活躍。2024年1月、トマーシュ・ブラウネル指揮プラハ交響楽団日本公演に出演。

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せて聴衆賞およびワルシャワ市長賞を受賞。2019年3月には出光音楽賞を受賞。



ゲストコンサートマスター 永峰 高志

Takashi Nagamine

東京藝術大学卒業。NHK交響楽団首席奏者として活躍する。在団中功績が認められ有馬賞を授与される。同団退団後はN響メンバーによるアンサンブルとの共演やリサイタル等ソリストとして活躍している。また新日本フィル、仙台フィル、山形交響楽団などのオーケストラにゲストコンサートマスターとして招か

れ、高い評価と信頼を得ている。最近は、指揮者としてもシュトゥットガルト室内管弦楽団、新日本フィル、仙台フィル、N響団友オーケストラなどを指揮し、その演奏は非常に高い評価を得ている。国立音楽大学特任教授、洗足学園音楽客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたる。



司会 岩間 瞳

Hitomi Iwama

大学卒業後、NHK福島放送局に勤務。情報番組やニュース番組などのキャスター、イベントの司会やナレーションなどを担当する。その後、新潟県でフリーアナウンサーに

転身し、情報番組のリポーターとして活動した。2020年に地元の宮城県に帰郷。NHK仙台放送局の夕方ニュース番組「てれまさ」のキャスターを務める。



仙台市民交響楽団

Sendai City Symphony Orchestra

1969年(昭和44年)10月、在仙高等学校の生徒有志を中心に仙台コース・シンフォニー・オーケストラとして発足。指導者の交代、団員の減少等による幾度かの消滅の危機を乗り越え、新田 孝先生(現:名誉指揮者)により活動団体としての礎を築いて頂いた。1990年(平成2年)、仙台市民交響楽団に名称を変更。

1997年以降は、各方面から客演指揮者を迎え、また仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーをトレーナーとして迎えるなど、ますます発展を遂げている。当団では、仙台市が掲げる「楽都仙台」の実現に向け、市民レベルで音楽文化の向上につながるよう、そして市民が音楽のすばらしさを実感し、音楽によって暮らしの中に潤いを感じられるよう、多くの皆様にその機会を提供していきたいと考えている。

活動としては、年に2回の定期演奏会の実施。他に、在仙の合唱団、仙台国際音楽コンクール入賞者との共演や、市民センター等の依頼演奏等。

2019年に創立50周年を迎え、記念演奏会の開催および記念誌を発刊。2008年及び2013年10月、仙台クラシックフェスティバルに出演。2012年1月、七ヶ浜コンサート開催。2012~2021年3月11日、南三陸町追悼式典での献奏及びBGM演奏等(※2020年はコロナウイルス感染症拡大のため式典演奏中止)、その他福祉施設にてメンバーによる出張演奏等。

2015年8月、平成26年度宮城県芸術選奨受賞。2017年10月、平成29年度宮城県「文化の日表彰」受賞。

ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞(2016年11月第5回、2022年6月第10回)受賞。